



子どもたち 先生方の笑顔のために

壁面に掲示してご活用ください

共に歩まん

令和5年11月8日発行

第17号

中信教育事務所

ご意見はこちら→ ←過去の「共に歩まん」はこちら

つな
げる

シリーズⅢ 「教育課程研究協議会特集」② 社会、算数・数学

【社会】 安曇野市立穂高北小学校（第5学年）

単元名： これからの食料生産とわたしたち

【目指す子どもの姿】

一人ひとりの考えを友と共有することで、様々な人の立場に立った見方、考え方ができる子ども



目指す子どもと出会うために

1. 学習材との出合わせ方の工夫
2. 子ども達の実態（意識）からつながる問いの設定
3. 資料集め（資料提示の仕方）
4. 対話しながら思考を深める場面設定

〈本時の子どもの育ち〉

食料自給率を上げるために、A児は生産者（水産業）の立場から、「魚をいっぱい取る」こと、自分ができる取組として、「魚を食べる」ことを考えました。全体追究において、消費者の「地産地消」、販売者の「ちょうどよい量を販売する」など、異なる視点で調べた友の意見を聞くことで、A児は自分の考えを深めていきました。授業の最後には、「和食を食べる」ことや「食品ロスを減らす」ことをまとめ、それぞれの立場や視点を踏まえて自分のできる取組を具体的に考えていきました。

【数学】 松本市立女鳥羽中学校（第2学年）

単元名： 一次関数

【目指す子ども像】

- 「学ぶ心」「思いやる心」「鍛える心」を磨き、自立する生徒
- 自分の考えも友の考えも大切にできる生徒



目指す子どもと出会うために

1. 総括的評価に偏らず、形成的評価を基に指導改善を図る。
2. 子どもの姿から、学習問題を工夫する。
3. 主体的・対話的で深い学びの視点からICTを活用する。
4. 子どもが、「役に立つ」と実感するICT活用のあり方を考える。

〈本時の子どもの育ち〉

グラフの式を求める場面で、T生は直線の傾きや切片を、グラフから読み取ることができない事象に出会い、追究の手を止めました。T生はクラウドにアップされた友の追究過程を食い入るように見つめ、友の追究過程の多くが直線が通る座標に着目していることに気付き、座標から直線の傾きを求めた既習の内容と結び付けて自力解決していきました。